

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	
	性 ・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
1	女 50代	C型慢性肝炎 におけるウイルス血症 (腎結石症, 胆石症, 中耳 炎, 自己免疫性 甲状腺炎, 喘 息, 慢性膀胱炎)	2,250mg 5日間	倦怠感, 発熱, 発疹, 嘔吐, 血中クレアチニン増加, C-反応性蛋白増加, 血中尿素増加 インターフェロン+リバビリンの前治療歴あり。	
				投与開始日	本剤 (2,250mg/日), リバビリン (400mg/日), ペグインターフェロンアルファ-2b (遺伝子組換え) (1.5 μg/kg) 投与開始。臨床検査値: Hb12.7g/dL, 血中クレアチニン値0.97mg/dL, 尿酸値8.6mg/dL, BUN20mg/dL。
				投与2日目	37°C前後の発熱, 倦怠感。
				投与3日目	発疹発現。 【重症度】グレード1: 体表面積の50%以下 (限局性) 【そう痒感】無 嘔吐, 微熱, 倦怠感, 胃部不快感。メトクロプラミド錠5mg (5mg/日頓用, ~中止2日後) 経口処方。
				投与4日目	嘔吐。
				投与5日目 (投与中止日)	CRP値上昇, BUN値上昇発現。 血中クレアチニン値5.7mg/dLまで上昇。本剤による急性腎障害。BUN77mg/dL。CRP5.79mg/dL。ペグインターフェロンアルファ-2b (遺伝子組換え), リバビリン, 本剤投与中止。 腎臓内科医師に診察依頼。以前より右腎萎縮は指摘されていたが, 治療を要するものではなかった。バルサルタン一旦中止。アロプリノール300mg→100mgへ減量。ファモチジン口腔内崩壊錠からランソプラゾール口腔内崩壊錠に変更。酸化マグネシウム製剤一旦中止。オロパタジン塩酸塩処方。補液, 尿量測定等で経過をみた。 ブドウ糖-電解質輸液500mL (500mL/日, ~中止1日後), 乳酸リンゲル輸液500mL (500mL/日) 静注投与。 大腿, 下腿, 上肢, 背中等を中心に発赤性小発疹多数出現。痛み・かゆみなし。嘔吐。
				中止1日後	皮疹の増悪なし。嘔吐。 37.3°Cの発熱。クレアチニン値5.38mg/dL, BUN80mg/dL に上昇。 オロパタジン塩酸塩錠5mg (10mg/日), オロパタジン塩酸塩OD錠5mg (5mg/日, ~中止7日後) 経口投与。生食500mL (500mL/日, ~中止4日後), ビタメジン静注用 (1バイアル/日, ~中止4日後) 静注投与。
				中止2日後	尿増加。倦怠感。食欲不振。 朝38°C台の発熱から36.6°Cに低下。嘔吐回復。 スルバクタムナトリウム・セフォペラゾンナトリウム静注用1g (1g/日, ~中止7日後) 静注投与。
				中止4日後	発熱回復。
				中止7日後	発疹, 倦怠感回復。
中止8日後	オロパタジン塩酸塩OD錠5mg (10mg/日) 経口投与。				
中止10日後	データ, 全身状態ともに改善 クレアチニン値上昇, BUN値上昇軽快。CRP値上昇回復。				

臨床検査値

	投与開始日	投与5日目 (投与中止日)	中止1日後	中止2日後	中止4日後	中止7日後	中止10日後
血清クレアチニン (mg/dL)	0.97	5.70	5.38	3.19	1.71	1.23	1.22
BUN (mg/dL)	20	77	80	51	20	14	13
尿酸 (mg/dL)	8.6	9.5	9.9	9.0	5.8	6.2	6.0

併用薬: ファモチジン, レボチロキシンナトリウム水和物, バルサルタン, 酪酸菌配合剤, クエン酸第一鉄ナトリウム, カモスタットメシル酸塩, ゾルピデム酒石酸塩, レバミピド, デキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物, メコバラミン, カリジノゲナーゼ, テオフィリン, 酸化マグネシウム, リバビリン (併用被疑薬), ペグインターフェロンアルファ-2b (遺伝子組換え) (併用被疑薬), アロプリノール

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	
	性 ・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
2	男 50代	C型慢性肝炎 におけるウイルス血症 (高血圧)	2,250mg 5日間 ↓ 1,500mg 継続	血中クレアチニン増加, 血中尿素増加, 血中尿酸増加, 発疹 インターフェロン+リバビリンの前治療歴あり。	
				投与1日前	臨床検査値: Hb14g/dL。
				投与開始日	本剤(2,250mg/日), ペグインターフェロンアルファ-2b(遺伝子組換え)(1.5μg/kg/週)投与開始。 発熱発現。ロキソプロフェン(60mg/日頓用)経口投与。
				投与3日目 (発現日)	血清クレアチニン, BUN, 尿酸上昇あり。 血液検査実施。BUN28.1mg/dL, 尿酸値8.5mg/dLに上昇。 発熱軽快。
				投与4日目	両上肢に発疹出現。 【重症度】グレード2: 体表面積の50%以下(多発性/びまん性) 【そう痒感】有 レボセチリジン塩酸塩(5mg/日)経口投与。
				投与5日目	搔痒感あり。クロタミトン・ヒドロコルチゾン配合クリーム(適量)塗布投与。
				投与6日目	血液検査実施。さらに上昇(血清クレアチニン2.04mg/dL, BUN41.6mg/dL, 尿酸12.9mg/dL)のため本剤2,250mg/日から1,500mg/日へ減量, および500mLの補液を行った。 発疹が両上肢, 兎径部, 腹部, 背部に広がる。レボセチリジン塩酸塩をオロパタジン塩酸塩(10mg/日)経口投与に変更。モサプリドクエン酸塩(15mg/日)経口投与。 輸液(500mL/日, ~投与14日目)静注投与。
				投与7日目	血清クレアチニン, BUN, 尿酸値の値は低下。
				投与8日目	血清クレアチニン, BUN, 尿酸値の値はさらに低下した。
投与9日目	発疹変化なし。				
投与36日目	発疹回復。				

臨床検査値

	投与 1日前	投与 3日目 (発現日)	投与 6日目	投与 7日目	投与 8日目	投与 15日目	投与 22日目	投与 29日目	投与 36日目
血清クレアチニン (mg/dL)	1.16	1.71	2.04	1.71	1.51	1.67	1.55	1.55	1.37
BUN (mg/dL)	18.1	28.1	41.6	38.4	29.5	—	—	—	17.2
尿酸 (mg/dL)	5.2	8.5	12.9	11.2	9.0	10.1	9.9	7.7	7.5

併用薬: テルミサルタン, リバビリン, ペグインターフェロンアルファ-2b(遺伝子組換え)(併用被疑薬), ラベプラゾールナトリウム

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	
	性 ・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
3	男 60代	C型慢性肝炎 におけるウイルス血症 (糖尿病, 便秘, 肝がん)	2,250mg 6日間	肝障害 13年前に糖尿病発症。腎症,網膜症なし。肝生検にてF2 ~ 3, A2 ~ 3 (8年前)。7年前に肝がん発現し(病期ステージI), ラジオ波にて治療。4年前に肝がん再発し(病期ステージI), ラジオ波にて治療。治療前のChild-Pugh分類A。アルコール服用あり。リバビリン+ペグインターフェロンアルファ-2b (遺伝子組換え) の治療歴あり。	
				投与1日前	臨床検査値: Hb11.9g/dL, 血小板数 $9.8 \times 10^4/\text{mm}^3$, AST32IU/L, ALT15IU/L, 総ビリルビン0.82mg/dL, アルブミン3.3g/dL, アンモニア $79 \mu\text{g}/\text{dL}$, PT時間11.4秒, PT活性81.3%, 血糖値412mg/dL, HbA1C8.4%。
				投与開始日	本剤2,250mg/日, リバビリン800mg/日, ペグインターフェロンアルファ-2b (遺伝子組換え) $1.5 \mu\text{g}/\text{kg}/\text{週}$ にて治療開始。
				投与3日目	普通食を8割位食べていた。
				投与5日目	食欲不振発現, 食事がとれなくなってきた。AST45IU/L, ALT22IU/L, アンモニア $139 \mu\text{g}/\text{dL}$ 。
				投与6日目 (投与終了日)	本日より, やや意識状態不穏あり。血糖値600mg/dL以上に上昇, 3剤併用療法中止。
				終了1日後 (発現日)	具合が悪そうになってきている。定期検査を実施。肝性脳症の昏睡度は, II~IIIであった。(亡くなる前日位まではII) ASTが1,602IU/L, ALTが635IU/Lに急上昇。アンモニア $125 \mu\text{g}/\text{dL}$, 血小板数 $8.0 \times 10^4/\text{mm}^3$ 。 夜に再検AST7,350IU/L, ALT2,490IU/L, 総ビリルビン3.59mg/dL, 直接ビリルビン1.96mg/dL。 PT59.9%に低下, 緊急CT施行, 肝右後区域にMap sign (地図状高エコー域)出現。モリヘパミン投与。BUN75.0mg/dL, クレアチニン2.21mg/dL, 尿酸13.1mg/dLに上昇し, 緊急透析施行。
				終了2日後	AST6,477IU/L, ALT2,040IU/L, 総ビリルビン4.81mg/dL, 直接ビリルビン2.49mg/dL。 透析+FFP (新鮮凍結血漿) 40Uの血漿交換開始
				終了3日後	AST5,430IU/L, ALT1,670IU/L, 総ビリルビン6.15mg/dL, 直接ビリルビン3.64mg/dL。 透析+FFP (新鮮凍結血漿) 40Uの血漿交換継続。血漿交換は施行し続けるも凝固系は改善せず肝細胞壊死が広がっている。輸液, 注射用メチルプレドニゾロンコハク酸エステルナトリウム500×2V, 献血アルブミン25% 50ml×2V の治療を行う。
				終了4日後	AST2,850IU/L, ALT995IU/L, 総ビリルビン6.39mg/dL, 直接ビリルビン3.81mg/dL。 PT34.8%とさらに悪化, FFP (新鮮凍結血漿) 40Uの血漿交換のみで循環動態保てず, 透析は施行不可能。
終了5日後	永眠 肉眼所見, 肝右後区域が出血壊死。 剖検の正式所見は3ヵ月後。DLST陰性。				

臨床検査値

	投与 1820日 前(約5 年前)	投与 1453日 前(約4 年前)	投与 1145日 前(約3 年2カ 月前)	投与 1093日 前(約3 年前)	投与 718日 前(約2 年前)	投与 694日 前 (約1 年11カ 月前)	投与 442日 前 (約1 年3カ 月前)	投与 400日 前 (約1 年1カ 月前)	投与 365日 前 (約1 年前)	投与 337日 前 (約11 カ月前)	投与 85日 前 (約3 カ月前)
赤血球数 (10 ⁴ /mm ³)	423	331	—	275	403	425	285	295	346	305	—
HB (g/dL)	14.0	10.8	—	9.1	13.2	13.9	9.9	10.2	11.7	10.3	—
ヘマトクリット値 (%)	40.8	33.0	—	28.2	38.8	41.2	31.0	31.6	35.2	31.1	—
血小板数 (10 ⁴ /mm ³)	3.9	3.1	—	5.8	6.0	8.7	6.5	4.7	9.8	5.0	—
白血球数 (/mm ³)	2,200	1,400	—	1,100	4,100	3,200	1,200	1,200	2,100	1,000	—
好中球 (%)	44.4	64.5	—	55.2	81.7	68.0	62.2	64.5	64.5	47.9	—
好酸球 (%)	1.9	0.0	—	4.8	0.7	1.3	1.6	1.6	2.9	2.1	—
好塩基球 (%)	0.5	0.0	—	0.0	0.0	0.6	0.0	0.8	0.5	1.0	—
単球 (%)	8.8	7.1	—	7.6	5.9	6.0	5.6	8.9	7.2	14.6	—
リンパ球 (%)	44.4	28.4	—	32.4	11.7	24.1	30.6	24.2	24.9	34.4	—
総蛋白 (g/dL)	6.0	7.2	—	6.8	6.2	7.3	6.5	6.0	7.0	6.6	—
アルブミン (g/dL)	3.0	3.5	—	3.5	3.3	3.5	3.2	3.2	3.7	3.3	—
総ビリルビン (mg/dL)	1.01	0.48	—	0.72	1.16	0.62	1.16	0.99	0.59	1.02	—
直接ビリルビン (mg/dL)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
AST (GOT) (IU/L)	57	25	—	33	75	34	74	62	45	56	—
ALT (GPT) (IU/L)	54	19	—	23	71	17	48	45	29	34	—
ALP (IU/L)	632	371	—	491	406	673	549	814	514	688	—
LDH (IU/L)	145	183	—	229	227	187	279	275	198	253	—
γ-GTP (IU/L)	149	—	—	38	135	98	165	282	148	139	—
コリンエステラーゼ (IU/L)	122	157	—	201	163	175	153	132	133	160	—
CK (CPK) (IU/L)	38	30	—	32	66	48	38	27	32	44	—
アミラーゼ (IU/L)	100	—	—	128	103	117	106	121	115	115	—
総コレステロール (mg/dL)	—	—	—	113	—	133	107	107	106	115	—
糸球体濾過値 (mL/min)	—	—	—	—	91.97	76.80	113.61	94.64	101.45	101.45	—
BUN (mg/dL)	13.8	15.7	—	14.6	17.9	16.0	16.2	15.6	13.9	13.6	—
血清クレアチニン (mg/dL)	0.62	0.84	—	0.67	0.67	0.79	0.55	0.65	0.61	0.61	—
尿酸 (mg/dL)	—	4.8	—	5.5	3.3	4.9	4.6	4.3	4.3	4.3	—
アンモニア窒素 (μg/dL)	—	—	—	—	84	—	27	31	57	32	—
Na (mEq/L)	135	140	—	140	132	141	141	135	136	137	—
K (mEq/L)	3.85	4.17	—	4.67	4.32	4.60	4.90	4.72	4.57	5.10	—
Cl (mEq/L)	102	106	—	108	100	101	106	101	101	103	—
Ca (mg/dL)	—	—	—	8.3	8.2	8.9	8.6	8.9	8.7	8.7	—
P (mg/dL)	—	—	—	3.0	2.1	3.2	2.7	3.3	3.1	2.6	—
CRP (mg/dL)	<0.28	—	—	<0.02	0.49	0.12	<0.02	0.03	0.07	<0.02	—
随時血糖 (mg/dL)	182	263	243	—	—	324	—	332	—	366	468
ヘモグロビンHbA1C (%)	8.2	5.4	6.6	—	—	7.0	—	5.9	—	6.5	8.1
PT-INR	1.33	1.36	—	—	—	—	—	—	—	—	—
IgG (mg/dL)	—	—	—	1,138.0	—	1,370.0	1,293.0	1,260.0	1,254.0	1,419.0	—
IgA (mg/dL)	—	—	—	324.0	—	530.0	412.0	405.0	471.0	428.0	—
IgM (mg/dL)	—	—	—	62.0	—	81.0	59.0	76.0	85.0	88.0	—
ヒアルロン酸 (ng/mL)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
AFP (ng/mL)	34.5	14.8	—	10.7	—	8.3	9.4	10.4	10.7	9.0	—

HBc 抗体	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
PIVKA-II (mAU/ml)	—	—	—	42	—	25	158	162	27	19	—

臨床検査値

	投与 71日前	投与 29日前	投与 1日前	投与 5日目	投与 6日目	終了1日後 (発現日)		終了 2日後	終了 3日後	終了 4日後
						(定期)	(夜)			
赤血球数 (10 ⁴ /mm ³)	410	432	421	396	—	391	401	360	335	341
HB (g/dL)	11.8	12.3	11.9	11.3	—	11.2	11.5	10.3	9.4	9.7
ヘマトクリット値 (%)	36.1	37.3	36.0	32.6	—	32.3	33.3	31.2	29.0	29.9
血小板数 (10 ⁴ /mm ³)	7.6	8.4	9.8	8.2	—	8.0	7.4	7.9	6.3	5.5
白血球数 (/mm ³)	1,900	2,400	2,600	4,200	—	6,100	7,300	12,300	13,900	10,500
好中球 (%)	55.7	62.0	56.1	71.7	—	77.2	78.2	89.1	86.7	87.2
好酸球 (%)	1.6	2.9	5.1	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
好塩基球 (%)	0.5	0.4	0.8	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
単球 (%)	8.0	8.8	8.6	11.8	—	13.0	14.4	6.1	9.2	7.2
リンパ球 (%)	34.2	25.9	29.4	16.5	—	9.8	7.4	4.8	4.0	5.6
総蛋白 (g/dL)	6.6	6.9	6.8	7.3	—	7.1	—	7.4	5.3	5.5
アルブミン (g/dL)	3.3	3.4	3.3	3.6	—	3.4	—	3.6	2.8	3.2
総ビリルビン (mg/dL)	0.75	0.87	0.82	1.04	—	2.51	3.59	4.81	6.15	6.39
直接ビリルビン (mg/dL)	0.33	0.39	—	—	—	1.39	1.96	2.49	3.64	3.81
AST (GOT) (IU/L)	35	31	32	45	—	1,602	7,350	6,477	5,430	2,850
ALT (GPT) (IU/L)	18	16	15	22	—	635	2,490	2,040	1,670	995
ALP (IU/L)	459	716	509	451	—	788	1,967	2,041	1,076	708
LDH (IU/L)	201	197	200	258	—	1,674	7,740	7,769	5,430	3,100
γ-GTP (IU/L)	62	62	60	58	—	66	73	82	77	90
コリンエステラーゼ (IU/L)	166	179	182	—	—	180	—	231	203	—
CK (CPK) (IU/L)	60	50	68	210	—	340	393	500	2,209	3,267
アミラーゼ (IU/L)	123	113	122	70	—	58	56	55	488	495
総コレステロール (mg/dL)	126	145	147	—	—	—	—	—	—	—
糸球体濾過値 (mL/min)	104.74	88.25	92.65	29.48	—	26.39	24.70	37.20	20.25	17.81
BUN (mg/dL)	12.9	17.2	15.9	53.2	—	63.9	75.0	36.3	30.3	22.0
血清クレアチニン (mg/dL)	0.59	0.69	0.66	1.88	—	2.08	2.21	1.52	2.65	2.98
尿酸 (mg/dL)	3.6	4.3	4.0	9.9	—	12.0	13.1	8.5	8.2	6.3
アンモニア窒素 (μg/dL)	51	71	79	139	—	125	107	87	62	95
Na (mEq/L)	137	137	134	129	—	127	125	133	133	136
K (mEq/L)	4.70	4.75	4.56	5.30	—	6.41	6.50	4.84	5.00	4.83
Cl (mEq/L)	104	102	100	95	—	92	94	90	93	92
Ca (mg/dL)	8.5	9.0	8.9	8.5	—	8.5	7.8	8.7	7.3	8.2
P (mg/dL)	2.9	3.1	3.1	4.1	—	5.3	5.5	5.9	4.5	5.8
CRP (mg/dL)	<0.02	0.02	0.02	0.73	—	0.85	1.46	2.59	1.71	1.22
随時血糖 (mg/dL)	—	—	412	—	>600	—	—	—	—	—
ヘモグロビンHbA1C (%)	—	—	8.4	—	—	—	—	—	—	—
PT-INR	—	—	1.10	—	—	—	1.27	1.26	1.71	1.65
IgG (mg/dL)	1,535.0	1,441.0	1,448.0	—	—	—	—	—	—	—
IgA (mg/dL)	578.0	590.0	576.0	—	—	—	—	—	—	—
IgM (mg/dL)	96.0	90.0	85.0	—	—	—	—	—	—	—

ヒアルロン酸 (ng/mL)	—	—	202	—	—	—	—	—	—	—	—
AFP (ng/mL)	6.4	7.3	7.2	—	—	—	—	—	—	—	—
HBc 抗体	—	—	(+)	—	—	—	—	—	—	—	—
PIVKA-II (mAU/ml)	15	21	21	—	—	—	—	—	—	—	—

併用薬：ウルソデオキシコール酸，ポラプレジンク口腔内崩壊錠，酸化マグネシウム製剤，ポルトラック，ラクチオール水和物製剤，ピオグリタゾン塩酸塩，グリメピリド，リバビリン，ペグインターフェロンアルファ-2b（遺伝子組換え），エソメプラゾールマグネシウム水和物，ベポタスチンベシル酸塩口腔内崩壊錠

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	
	性 ・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
4	女 50代	C型慢性肝炎 におけるウイルス血症 (高血圧)	2,250mg 11日間	発熱, 悪心, 嘔吐, 中毒性皮疹, 腹痛, 肝障害 ペグインターフェロンアルファ-2b (遺伝子組換え), リバビリンの前治療歴なし。	
				投与開始日	本剤 (2,250mg/日), リバビリン (800mg/日), ペグインターフェロンアルファ-2b (遺伝子組換え) (1.5 μg/kg/週) 投与開始。臨床検査値: Hb15.4g/dL, 血小板数 $24.3 \times 10^4/\text{mm}^3$, AST53IU/L, ALT66IU/L, クレアチニン0.74mg/dL。
				投与2日目	38°Cの発熱。CMCP (病院の約束処方 クロルジアゼポキシド+ロキソプロフェンナトリウム水和物+メトカルバモール: 1回1g/日頓用) にて対応することになる。
				投与3日目	嘔気, 嘔吐出現。腹痛発現。モサプリドクエン酸塩 (15mg/日) 経口投与, ラペプラゾールナトリウム (20mg/日) 経口投与, ドンペリドン (30mg/日) 経口投与するも改善なし。左膝部に発赤・発疹出現。 中毒疹発現。 【重症度】グレード1: 体表面積の50%以下 (限局性) 【そう痒感】有 ベポタスチンベシル酸塩 (20mg/日), クロタミトン・ヒドロコルチゾン配合クリーム (適量, ~投与9日目) 外用開始。
				投与4日目	メトクロプラミドの点滴500mLを4日間行う。軽快したため内服のみに変更。
				投与8日目 (発現日)	2回目の注射用ペグインターフェロンアルファ-2b (遺伝子組換え) 投与後も嘔気, 嘔吐あり。ドンペリドン坐薬 (60mg) を適時頓用使用した。 肝障害 (増悪) を認めた。
				投与9日目	両下肢, 左臀部へと発疹広がる。ベタメタゾン酪酸エステルプロピオン酸エステル軟膏 (適量/日) 外用追加し, 徐々に改善。
				投与11日目 (投与中止日)	肝機能再検。AST585IU/L, ALT379IU/Lと上昇認め, 本人, 家族とインフォームド・コンセントののち, 本剤, リバビリン中止。治療 (3剤併用) を中止した。 本日よりグリチルリチン酸-アンモニウム100mL 2回。 徐々に発疹改善。
				中止2日後	肝機能の改善傾向認め, グリチルリチン酸-アンモニウム (60mL/日, ~中止4日後) へと漸減。
				中止4日後	嘔気, 嘔吐回復。発疹消失確認。退院。
中止7日後	肝障害軽快。				

臨床検査値

	投与日	投与8日目 (発現日)	投与11日目 (投与中止日)	中止1日後	中止4日後	中止7日後
AST (GOT) (IU/L)	53	150	585	387	88	40
ALT (GPT) (IU/L)	66	95	379	281	125	65
γ-GTP (IU/L)	58	52	81	82	82	79
総ビリルビン (mg/dL)	0.84	—	1.46	1.01	1.12	1.21

併用薬: テルミサルタン・ヒドロクロロチアジド配合, ロフラゼパ酸エチル, リバビリン (併用被疑薬), ペグインターフェロンアルファ-2b (遺伝子組換え) (併用被疑薬)

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用			
	性 ・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置			
5	女 60代	C型慢性肝炎 におけるウイルス血症 (甲状腺機能亢進症)	2,250mg 3日間	腎障害, 筋骨格硬直, 横紋筋融解症 甲状腺機能亢進症をレボチロキシナトリウム (50 μg/日) にて治療中。			
			↓ 1,150mg 8日間			投与1日前	臨床検査値: Hb14.4g/dL, 血小板数 $17.8 \times 10^4/\text{mm}^3$, AST31IU/L, ALT29IU/L, クレアチニン0.49mg/dL, BUN12mg/dL, 尿酸4.7mg/dL, LDH191IU/L, CK (CPK) 68IU/L。
			↓ 750mg 4日間			投与開始日	本剤2,250mg/日, リバビリン600mg/日, ペグインターフェロンアルファ-2b (遺伝子組換え) 1.6 μg/kg/週にて治療開始。
						投与3日目 (投与中止日)	尿量減少, 採血上のクレアチニン1.9mg/dL, 尿素窒素, 尿酸の上昇が認められブドウ糖-電解質液 (開始液) (500mL/日, ~中止10日後) の静脈点滴を開始した。本剤, リバビリンカプセル投与中止。
						中止1日後	尿量回復してきた。
						中止6日後	クレアチニン1.09mg/dL, BUN20mg/dL, 尿酸6.2mg/dLまで改善。
						中止11日後	リバビリンカプセル (400mg/日) 投与開始。
						中止17日後 (再投与開始日)	急性腎障害回復。 クレアチニン0.59mg/dL, BUN15mg/dL, 尿酸5.3mg/dL まで改善。 本剤 (1,500mg/日) 投与開始。
						再投与8日目	本剤 (750mg/日) 投与変更。
						再投与11日目 (再投与中止日)	本剤, リバビリンカプセル投与中止。
						再投与 中止1日後 (発現日)	上下肢の筋硬直を認め救急搬入された。採血上LDH326IU/Lであった。 横紋筋融解発現。 ジアゼパム (5mg頓用), ブドウ糖加酢酸リンゲル液 (1,000mL/日, ~再投与中止5日後), 総合電解質輸液 (1,000mL/日, ~再投与中止5日後), 静注投与開始。
						再投与 中止4日後	身体症状改善あるも採血上, LDH333IU/L, CK (CPK) 2,505IU/L, AST82IU/Lを認めた。 入院日より点滴療法が継続されている。
						再投与 中止11日後	筋硬直, 横紋筋融解, 採血検査上改善が認められた。
	再投与 中止13日後	リバビリンカプセル (400mg/日) 投与開始。					

臨床検査値

	投与 1日前	投与 3日目	中止 6日後	中止 12日後	中止17日後 (再投与開始日)	再投与中止 1日後 (発現日)	再投与中止 4日後	再投与中止 11日後
Hb (g/dL)	14.4	—	14.5	13.8	13.5	—	10.9	10.9
クレアチニン (mg/dL)	0.49	1.90	1.09	0.77	0.59	1.31	0.65	0.47
BUN (mg/dL)	12	27	20	—	15	25	7	10
LDH (IU/L)	191	191	—	—	211	326	333	252
CK (CPK) (IU/L)	68	34	—	—	57	—	2,505	73

併用薬: レボチロキシナトリウム, ニフェジピン徐放錠, リバビリン (併用被疑薬), ペグインターフェロンアルファ-2b (遺伝子組換え) (併用被疑薬)